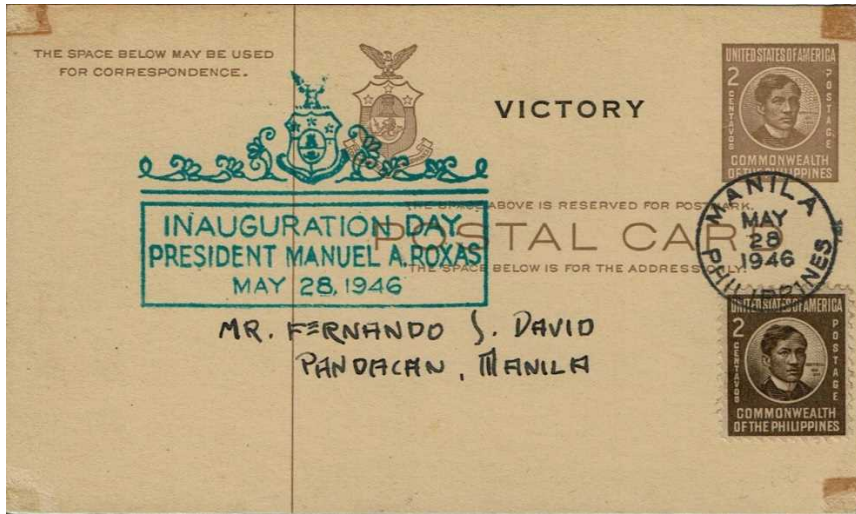


第2次世界大戦後のフィリピンの「独立」

谷之口 勇

東南アジアの国、フィリピンが第2次世界大戦後に独立した時の切手をご紹介します。最初に発行された切手(一番切手)を収集していますが、私の場合は政権変更などで国名表記が変更した前後の切手も収集対象にしています。フィリピンはスペインとアメリカの植民地、そして第2次世界大戦中には日本の占領下を経て、第2次世界大戦後に独立を果たします。



上の写真は、フィリピン・コモンウェルスとして最後に発行された2セントボ切手。19世紀にフィリピンの独立運動に取り組み「国民的英雄」と称されるホセ・リサルを描いています。1946年5月28日に切手が発行されました。

この日はフィリピン・コモンウェルスの最後の大統領となるマニエル・ロハスが就任した日と重なり、カシエとして押印されているスタンプも大統領就任を記念する物です。切手を貼り付けている官製はがきには、日本からの勝利を意味する「VICTORY」が加刷されています。

右はフィリピン独立を記念する切手で、フィリピン独立後最初に発行した切手になります。1946年7月4日発行。2セントボス、6セントボス、12セントボスの3種類が発行されましたが、12セントボス切手を貼った初日カバーを紹介します。

女性がフィリピンの旗を持っていますが、左右の旗を見ると左にアメリカの星条旗、右にイギリスのユニオンジャックと思われる旗も描かれています。

コモンウェルスで最後の大統領となったマニエル・ロハスが、最初の大統領となりました。

